

とぜわ

Public Relations of TOZAWA

巻頭
記事

戸沢村の観光産業
の発展を考える

広報

No.545 2017年（平成29年）4月号

戸沢小学校校舎最後の卒業式



4

Apr

戸沢村の観光産業の発展を考える



3月6日（月）、最上川舟下りのPR・観光産業の発展を目的とした「舟下り議会」の前段として、船中意見交換会が行われました。村議会議員や鈴木芭蕉ライン観光株式会社社長、村関係者らが、戸沢村の観光産業の中心を担う「最上川舟下り」を実際に体験しながら意見交換を行いました。

船中意見交換会では、観光や誘客に向けた環境整備などが話題に上がり、活発な意見交換が行われました。船中意見交換会での話し合いの内容の一部を紹介します。

観光客の増大について

鈴木富士雄芭蕉ライン観光社長

最上川舟下り利用客のピークは、平成3年で30万人。現在の状況はピーク時の約1/3となっており、昨年と比べても増加に至っていないのが現状である。だが近年では、インバウンドツアーなど外国人観光客の誘客促進が図られ、外国人利用客は増加傾向にある。

小野宏議員

最上川舟下りを含め、戸沢村の四季を堪能できるイベントを開催してはどうか。戸沢村には、浄ノ滝や幻想の森など他に誇ることができる観光資源が多く存在する。それらを有効に活用し、四季を通して、観光客を戸沢村に呼び込むことが重要。

加藤文明議員

戸沢村の観光のほとんどが最上川舟下りを中心とした「通過型ツアー」である。観光客の方に村に

長時間滞在していただく、「滞在型ツアー」に切り替えていくことはできないだろうか。戸沢村の自然の中には、トレッキングコースとして活用するには絶好の場所がいくつか存在する。それらを活用していくことはできないか。

鈴木富士雄芭蕉ライン観光社長

芭蕉ライン観光でも滞在型の観光を考えている。ふるさと村の活用やイカダ下りなど体験一体型の観光商品の開発に力を入れている。

田中奨議員

旅館の紅のほかに、農家民宿がいくつか存在する。そこを利用し、宿泊をとまった観光にしていることはできないか。



鈴木富士雄芭蕉ライン観光社長

宿泊も視野に入れていくことは重要。人と人とのつながりがリーダー獲得につながると考えている。

早坂信一議員

観光客を増やしていくためには、企業だけ、行政だけでは厳しいと考える。これからの企業と行政との協力体制については、どう考えているか。

鈴木富士雄芭蕉ライン観光社長

協力体制づくりは重要だと考えている。

渡部秀勝村長

村の観光の中心を担うのは、最上川舟下りである。これからの観光産業の発展のためにも、協力体制を強めていきたい。

環境整備について

岡田孝一議員

最上川の対岸に桜が植えられているが、今の所ほかの樹木などがかぶさり、きれいに見えない状況にある。最上川舟下りの最中、上流から下流まできれいに見えるよ

うに、整備をしてほしい。

鈴木富士雄芭蕉ライン観光社長

外国人観光客には、桜が大変好評である。最上峡に植樹し、毎年きれいに見えるように整備し、一つの村の名物になればよいと考えている。



阿部和雄産業振興課長

こうした事業を進めて行くには、維持管理の問題が一番重要になってくる。やりっぱなしでは、意味がなくなる。どうしていくべきだと考えるか。

加藤政一議員

企業だけでは、手が回らなくなる。企業や各地区会が中心となり、

地域ぐるみで組織をつくり、維持管理にあたるのが重要ではないか。

渡部秀勝村長

地域住民みんなで、組織をつくって、みんなで守っていくことが重要。村の資源を村全体で磨き上げ、魅力的な村づくりを行ってきたい。

舟下り議会

3月9日～15日までの7日間、平成29年第1回定例会が行われました。その中で、最上川舟下りのPRを目的とし、議会出席者全員が船頭さんの法被を着て本会議に臨みました。



戸沢小学校6年生のみんなが議会傍聴にきてくれたよ！



<第4次総合計画スローガン>

自立・活力・協働による 元気な村の創造

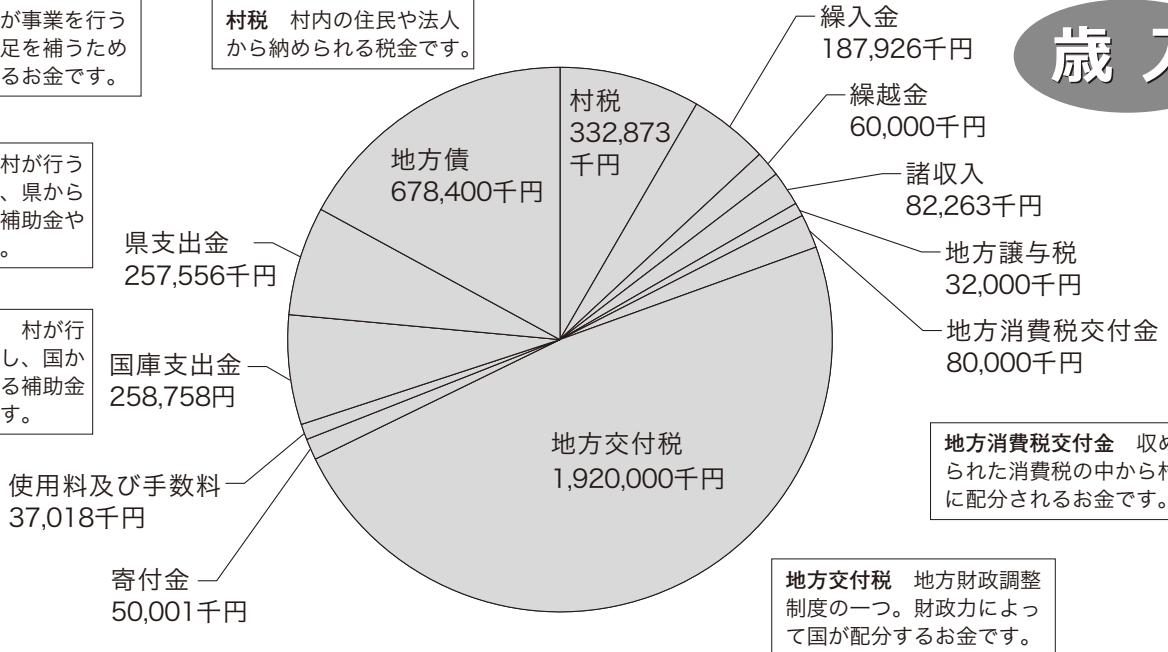
1. 安心して暮らせる潤いとやすらぎのある村づくり
2. 活力に満ちた豊かな村づくり
3. 健康で笑顔あふれる元気な村づくり
4. 文化と自然を大切にする心豊かな村づくり
5. 村民参加と協働による村づくり

地方債 村が事業を行う際に財源不足を補うために借り入れるお金です。

村税 村内の住民や法人から納められる税金です。

県支出金 村が行う事業に対し、県から支払われる補助金や負担金です。

国庫支出金 村が行う事業に対し、国から支払われる補助金や負担金です。



地方消費税交付金 収められた消費税の中から村に配分されるお金です。

地方交付税 地方財政調整制度の一つ。財政力によって国が配分するお金です。

歳入

平成29年度戸沢村一般会計歳入歳出当初予算は、39億9,800万円(前年度比2億3,400万円減)となっています。

本村の自主財源の多くを占める村税は、3億3,287万円(前年度比295万円増)、歳入の約半分を占める地方交付税は、19億2,000万円(3,000万円の減)となっています。

昨年度と比較して大きな増減が見られた項目としては、国庫支出金が2億5,876万円(前年度比2億9,199万円減)となっています。新小学校校舎棟建設工事の完了に伴い、補助金が減額されたことによる減となっています。

諸収入は、8,226万円(前年度比6,747万円増)となっています。へき地診療所特別会計が平成28年度をもって廃止されたことに伴い、診療収入が一般会計に計上されたことによる増となっています。

その他、県支出金が2億5,756万円(前年度比5,823万円増)、寄附金が5,000万円(前年度比4,400万円増)となっています。

歳出

平成29年度一般会計歳出については、大きく増減が見られた項目としては、民生費が11億9,205万円(前年度比2億3,884万円増)となっており、平成30年度開所予定の新保育所の建設事業費として4億2,591万円を計上していることによる増となっています。

衛生費は、3億4,881万円(7,243万円増)となっており、へき地診療所特別会計が平成28年度をもって廃止されたことに伴い、診療所費として、7,915万円を計上していることによる増となっています。

商工費は、3,142万円(前年度比630万円の増)となっており、子育て世帯を対象にプレミアム付商品券の発行を行う、未来応援プレミアム付商品券発行事業として550万円、インバウンド受入整備事業委託料として300万円を計上していることによる増となっています。

教育費は、4億8,182万円(前年度比5億4,716万円減)となっており、新小学校校舎棟建設工事完了に伴い、小学校建設事業費が減額されたことによる減となっています。

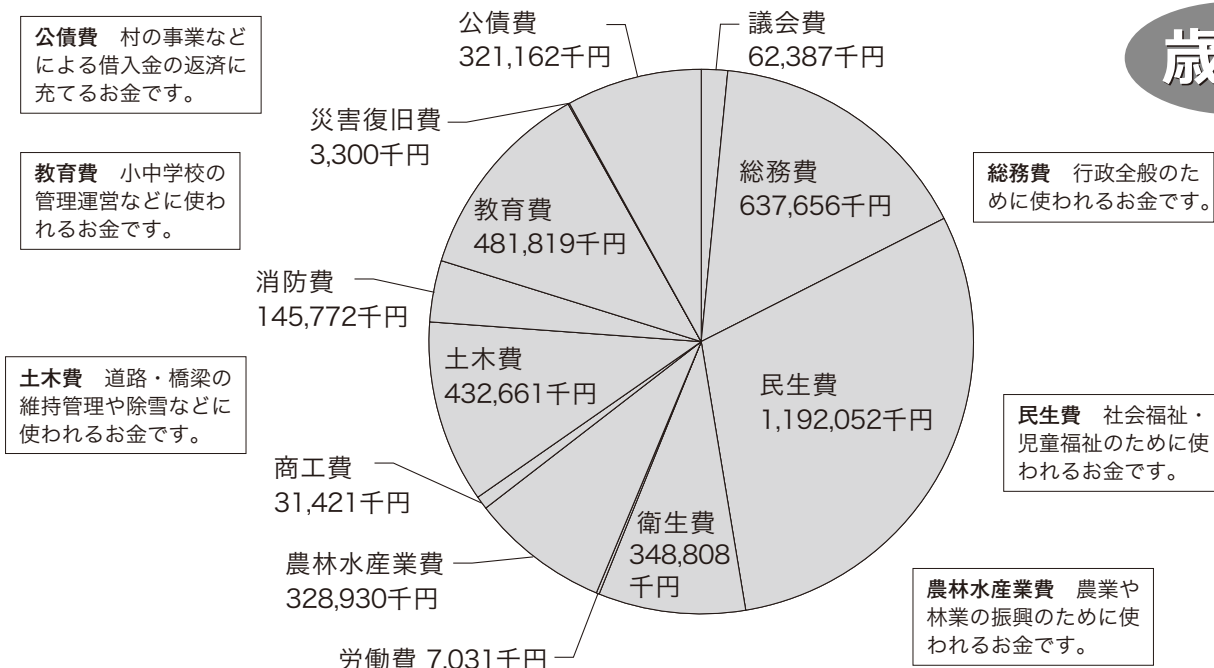
村民の皆様の様々な負託に応え、安心・安全な村づくりを着実に進めていくための予算となっています。

平成29年度 一般会計 当初予算額

39億9,800万円

(前年度比 -2億3,400万円)

歳出



平成29年度 特別会計当初予算

11億4,120万円

(対前年度比 -1億2,910万円)

国民健康保険特別会計	10,000千円
後期高齢者医療特別会計	47,400千円
簡易水道事業特別会計	215,400千円
公共下水道事業特別会計	101,000千円
農業集落排水事業特別会計	124,000千円
介護保険特別会計	643,400千円

※へき地診療所特別会計は、事務事業の合理化を図るため、平成28年度をもって廃止し、一般会計に計上しています。

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行うために、歳入・歳出を一般会計と区別して経理する会計のことです。

生活の基本となるインフラとしての水道事業や下水道事業などの事業が行われています。

戸沢村では、平成28年度6つの特別会計があり、当初予算の総額は、11億4,120万円(対前年度比1億2,910万円減)となっています。

増額となったものは、後期高齢者医療特別会計が4,740万円(前

年度比10万円増)、公共下水道事業特別会計が1億100万円(前年度比900万円増)となっています。

その他の特別会計に関しては、国民健康保険特別会計が1,000万円(前年度比2,180万円減)、簡易水道事業特別会計が2億1,540万円(230万円減)、農業集落排水事業特別会計が1億2,400万円(前年度比1,070万円減)、介護保険特別会計が6億4,340万円(前年度比2,340万円減)となっています。

自慢の「のど」を披露



今月の一枚



3月2日（木）、ぼんぼ館にて、第30回新春カラオケ大会が行われ、村内各地区から100名を超える老人クラブ会員が参加し、自慢の「のど」を披露しました。

参加した会員は、カラオケや仲間との交流を楽しみ、中には、飛び入りでカラオケを披露する方がいるなど、会場は大いに盛り上がっていました。

最後には、来年も元気にカラオケ大会を開催すること、また、老人クラブ連合会の更なる発展を誓って、万歳三唱で締めました。

幻想的な夜のひとときを

3月4日（土）、蔵岡地区にて、蔵岡地区紙風船まつりが開催され、夜空に浮かぶ幻想的な紙風船を見ようと、村内外から多くの見物客が訪れました。

紙風船は、地元住民の方々や協賛企業・地区会の方々によって制作され、五穀豊穡や家内安全など様々な想いととも、夜空に打ち上げられました。

当日は、紙風船のほかにも、スカイランタンや打ち上げ花火が行われ、様々なひかりの共演が、来場者の目を楽しませていました。



自衛隊入隊予定者を激励

3月7日（火）、戸沢村役場にて、自衛隊入隊予定者の激励会が行われ、今年度戸沢村から入隊が予定されている「冨澤拓成さん」、「大友陽介さん」、「八楯草太さん」の3名を激励しました。

激励会では「体力を活かして、活躍できるようにがんばりたい（冨澤拓成さん）」、「今まで培ってきたモトクロスの技術を活かし、救護活動にあたりたい（八楯草太さん）」と、自衛隊での活躍を誓いました。

社会に貢献できる立派な自衛隊員になることを期待しております。

大きくなって戻ってきてね

3月10日（金）、戸沢小学校3年生の児童による鮭の稚魚の放流が行われました。はじめに、「放流された鮭は、わずかしか戻ってくることができない。3～4年でもとの川に戻ってくる」と鮭についての説明を受けた後、放流を行いました。

当日は、鮭の稚魚約3000匹が濁沢川に放たれ、子ども達は「早く大きくなってね」、「また戻ってきてね」などと声をかけながら放流していました。

児童らの願いを受けて、放流した鮭がまた濁沢川に戻ってくることを期待します。





「いのち」について考える

3月13日（月）、戸沢中学校にて、「いのち」について深く考える道徳授業が行われました。

今年は、福島県いわき市立好間第一小学校の松本光司校長先生を講師に招き、東日本大震災の復興の様子や災害から身を守る方法などについての講話が行われました。その後、生徒たちが「地震」、「台風」、「雪害」の3つの災害がもたらす課題等について話し合いを行いました。

実際に被災したときの状況や行動、身を守る方法などをじっくり考え、防災意識を高める良いきっかけになったのではないのでしょうか。

さて、3月はすっかりお休みをいただきました。

今月からまたしっかり働かせていただきます、鈴木です。

靱帯の手術だったので、秋口までは膝と相談しながらの活動になるかと思いますが、引き続きなにかあれば、連絡いただければ、馳せ参じたいと思っております！

よろしくお願いします。

地域おこし 協力隊 奮闘記Vol.16



地域おこし協力隊
鈴木英策さん

春です。戸沢村中央公民館図書室からお知らせです。

戸沢村中央公民館図書室 利用案内

①まずは利用者カードを作りましょう。（0歳から作れます。もちろん無料です。）

※村内在住・村内勤務の方なら誰でも作れます。

②借りたい本を図書室、または中央公民館ロビーで借りる。

★図書室の場合はカードで。ロビーの場合は貸出ノートへ記入して借りられます。

※本は一人五冊まで、二週間借りられます。

③読み終わった本、返却期限になった本は、図書室へ返却する。返却の時はカードはいりません。

※図書室が開いていなくても、事務室前の赤い返却ポストに入れてもらえば、返却完了です。

新しい本へりました♪

さいしよにみるえほん もよう

フィオナ・ランド

表紙のような絵と少しの凸凹。視力が弱い乳幼児にもはつきり見えて、手で触れて遊べる絵本入りました♪



ぼくは明日、昨日の君とデートする
七月 隆文 著



「あなたの未来がわかるって言ったら、どうする？」
奇跡の運命で結ばれた二人を描く、甘くせつない恋愛小説。（本書あらずじより）
人気店の味を簡単アレンジ混ぜて焼くだけ19時からの満足焼き菓子



身近な食材で簡単に作れる！ボウルで材料を混ぜて焼くだけ。帰宅してから作り始めても、短時間で気軽に完成！（本書紹介文より）

くれよんの日

次回は五月一日（月）

七時から八時半まで図書室が開いています。

本の時間

毎週木曜日

午後二時五十分

～午後三時四十分

大人同士で、好きな本について語り合いませんか？

本のススメ

～図書室から～ vol.47

戸沢中学校 卒業証書授与式

3月16日（木）、戸沢中学校にて、卒業証書授与式が行われました。
卒業生48名が思い出の詰まった学舎を旅立ちました。自分の選んだ道を信じて、歩み続けてほしいと思います。



戸沢小学校 卒業証書授与式

3月19日（日）、戸沢小学校にて、卒業証書授与式が行われました。
卒業生30名が思い出の詰まった校舎を旅立ちました。
この度の卒業式は、現在の戸沢小学校校舎で行う最後の卒業式となりました。新年度からは、全児童が戸沢小学校・戸沢中学校での学校生活をスタートさせることとなります。ステージ上で語った抱負を胸に、これからも頑張っていたきたいと思います。



村内各保育所で卒園式が行われました。

3月24日（金）、村内各保育所にて、卒園式が行われ、27名の園児が卒園しました。
小学校でも、明るく元気に頑張ってください。



戸沢村立戸沢小学 校・戸沢中学校が 開校します

平成29年4月1日、戸沢村立戸沢小学校・戸沢中学校が開校し、県内でも数少ない、小中一貫教育校として生まれ変わります。これまで通り、地域に開かれた学校を目指して参りますので、地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



戸沢村立戸沢小学校・ 戸沢中学校開校式

日時 平成29年4月7日(金)
9:15～
場所 戸沢小学校・戸沢中学校
体育館

GASSAN GEOPARK 月山ジオパーク構想

月山ジオツアーフォーラム及び 平成28年度総会を開催

3月21日、西川交流センターあいべ(西川町)で、鶴岡市・庄内町・西川町・大蔵村・戸沢村の関係者や一般の方々など、約100名が一堂に会し、月山ジオツアーフォーラムと平成28年度の総会が行われた。

第1部では、(株)近畿日本ツーリスト東北より、2月1日から3月1日にかけて実施したインバウンドツアーの報告と事業の検証を行いました。今年は、台湾、中国、韓国、タイから約400名のツアー客が月山ジオパーク構想エリアを訪れ、雪国体験や食や文化を体験しました。ツアー客からは、「料理がおいしかった」「日本文化をたくさん体験できてうれしい、また来たい」「地元の方との交流が楽しかった」など好評な意見がある一方で、「知名度が低い」「Wi-Fi整備をした方がいい」「個人で来るときの交通手段が分からない」などの意見が出されました。協議会としては、それらの課題に対し、これからは5市町村が統一した月山ブランドینگを行い、広くPRしていく必要性があることを確認しました。

第2部は、『今、月山に流れが！ジオパーク、日本遺産、山岳信仰・・・、そのベクトルを共有する!!』と題し、パネルディスカッションが行われました。羽黒山伏であり、観光アドバイザーでもある社会福祉法人敬寿会常務理事の正木徹氏をコーディネーターに迎えて、日本遺産とジオパークに取り組む意義やその方向性について議論され、今後、ジオパーク、そして、日本遺産や出羽三山神社が協力して月山を盛り上げていくことを確認しました。

第3部の総会では、平成29年度の事業計画を明示し、今後の具体的な活動について確認しました。また、役員改選が行われ、新会長に榎本政規鶴岡市長が選出されました。(あわせて事務局が鶴岡市に移行することとなります)

○来年度役員一覧

会長	鶴岡市長 榎本政規
副会長	西川町長 小川一博
副会長	戸沢村長 渡部秀勝
監事	庄内町長 原田眞樹
監事	大蔵村長 加藤正美

健康福祉課からのお知らせ

骨髄移植ドナー助成（新規事業）

骨髄等のドナーに対し助成することで、ドナーの負担を軽減し、骨髄バンクへの登録の推進を図るための事業になります。

- 対 象 者** ①骨髄等の提供を完了した方 ②他の法令に基づく助成等を受けていない方
③骨髄等の提供のための休暇制度が導入されていない事業所等に勤務している方
- 助成金額** 上限14万円（1日あたり2万円：最大7日間） **申請方法** 健康福祉課 健康推進係②番窓口にて申請
- 持 ち 物** ①骨髄バンクが発行する骨髄等の提供が完了したことを証する書類
②骨髄等の提供にかかわる通院等を行ったことを証する書類 ③医療保険証の写し

がん患者医療用ウィッグ購入費助成

- 対 象 者** ①がんと診断され、がんの治療を行っている方
②がんの治療に伴う脱毛により、就労や社会参加等に支障がある又は支障の出る恐れがあるため、ウィッグが必要になっている方
③他の法令等に基づく助成等を受けていない方
- 助成金額** ウィッグ購入費の半額（上限2万円） **申請方法** 健康福祉課健康推進係②番窓口にて申請
- 持 ち 物** ①がんの治療を受けていることを証明する書類のうち次のいずれか1つ
（1、お薬手帳 2、診療明細書 3、治療方針計画書 4、わたしのカルテ 5、がん治療パス）
②医療用ウィッグを購入した時の領収書
③本人確認書類（健康保険証又は運転免許証）※代理申請の場合も同様

高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種費助成

- 対 象 者** ①平成29年度中に満65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方
②60歳～64歳で心臓、呼吸器や腎臓などに重度の障がいがある方（身体障がい者1級相当）
※過去に高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を受けたことがある方は対象外です
- 接種場所** 戸沢村中央診療所（要予約：☎72-3363）、県内委託医療機関 **助 成 額** 4,000円
- 持 ち 物** 健康保険証、健康手帳（お持ちの方）、身体障がい者手帳（対象者②に該当する方）

高齢肺炎球菌ワクチン任意接種費助成

- 対 象 者** 65歳以上で、過去に高齢肺炎球菌ワクチン予防接種を受けたことのない方
- 接種場所** 戸沢村中央診療所（要予約：☎72-3363） **助 成 額** 4,000円
- 持 ち 物** 健康保険証、健康手帳（お持ちの方）

戸沢村中央診療所
予防接種受付時間

	月	火	水	木	金	土（第2、4）
8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
13:30～16:30	○		○		○	

実施期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

※接種費用については、医療機関の定める金額より助成額を除いた額となります。

子宮頸がんワクチン予防費助成

- 対 象 者** 中学2年生女子 **実施期間** 平成29年4月1日～平成30年3月31日

日 時	月	火	水	木	金	土（第2、4）
8:30～11:30						○
13:30～16:30	○		○		○	

接種場所 戸沢村中央診療所（要予約：☎72-3363）

接種回数 6カ月の間に3回接種 **接種費用** 無料

※上記の事業は戸沢村に住所を有する方のみ対象 問合せ先 健康福祉課健康推進係 ☎72-2364（内線146）

危機対策課からのお知らせ

土砂災害等危険住宅移転促進事業について

- 概要** かけ地の崩壊、土石流、地すべりにより、住民の生命に危険を及ぼすおそれのある区域内に建っている危険住宅の移転を行う場合、その居住者に対して、国と地方公共団体が危険住宅の除却等に要する経費と新たに建設する住宅(購入も含む)に要する経費に対して補助金を交付する制度です。
- 対象住宅** 土砂災害防止法に基づき知事が指定した土砂災害特別警戒区域内に存在する住宅(土砂災害特別警戒区域に指定された日以前に建築された住宅であること)
- 助成内容**
- ①危険住宅の除却等に要する経費
 - ・撤去、動産移転、仮住居、跡地整備に要する経費を補助します。(補助限度額あり)
 - ②新たに建設する住宅(購入も含む)に要する経費
 - ・住宅の建設や購入、土地の購入に要する資金を金融機関から借り入れた場合において、借入金利子に相当する額を補助します。(補助限度額あり)
- 注意事項**
- ・補助を受けようとする場合は、事前相談が必要です。
住宅の除去、新たな住宅建設(購入も含む)を予定されている前年度の8月頃まで相談してください。(予算措置のため)
 - ・この事業は危機対策課(☎72-2152)又は建設水道課(☎72-2547)が相談窓口となります。
 - ・契約や工事着手は、補助金の交付決定後に行う必要があります。
 - ・工事は、年度内に全て完了する必要があります。 ●危険住宅は完全に撤去する必要があります。
 - ・移転者が居住していない住宅は対象になりません。

総務課からのお知らせ

国民生活基礎調査が実施されます

平成29年6月1日(木)及び平成29年7月13日(木)を基準日として「国民生活基礎調査」が実施されます。本調査は、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定することを目的としています。今回、戸沢村においては滝ノ下地区が調査対象に設定されています。

対象地区内にお住いの皆様におかれましては、調査対象世帯になった際に統計調査員が調査票の配布・回収に伺いますので、調査票の記入・提出にご協力いただきますようお願い致します。

問合せ先 山形県最上総合支庁 保健福祉環境部(最上保健所) 保健企画課 ☎0233-29-1258

住民税務課からのお知らせ

住所等の異動届はお済みですか？

引っ越し等をした時や健康保険の資格に異動があった時は、届出が必要です。(進学などで親元を離れる場合も同様です。)異動先での住民サービスを確実に受けるためにも、忘れずに手続きをしてください。

問合せ先

住民税務課住民生活係
☎72-2326

届出が必要なとき	届出期間	持ってきていただくもの (●は必ず、*は該当する方のみ必要です)
■転入届 他市町村から引っ越ししてきたとき	戸沢村に住んだ日から14日以内	●印鑑 ●本人確認書類(運転免許証、健康保険証など) ●転出証明書(前住所地で発行したもの) ●通知カードもしくは個人番号カード *住民基本台帳カード
■転出届 他市町村に引っ越しするとき	戸沢村から引っ越しする日からおおむね14日以内	●印鑑 ●本人確認書類 *国民健康保険証、後期高齢者保険者証、介護保険者証など *各種医療証(子育て、ひとり親、身障等) *住民基本台帳カード、個人番号カード *印鑑登録証
■転居届 村内で引っ越ししたとき	引っ越しをした日から14日以内	●印鑑 ●本人確認書類 ●通知カードもしくは個人番号カード *国民健康保険証、後期高齢者保険者証、介護保険者証など *各種医療証(子育て、ひとり親、身障等) *住民基本台帳カード

お知らせ版

～各種イベントや募集案内、
各課からの連絡～

伝言板コーナー

「第6師団創立55周年・神町駐屯地創立61周年記念行事」

○日時 4月16日（日）
8時～15時（駐屯地一般開放）

○場所 陸上自衛隊神町駐屯地

○内容 観閲式、戦闘訓練展示、体験試乗等

○問合せ先

第6師団司令部広報室

☎0237481151

「山形県看護協会健康まつり」

○日時 5月13日（土）
10時～15時

○場所 山形県看護協会会館

○内容 測定相談コーナー、体験コーナー、白衣を着ての記念撮影、進路相談、講話等

○参加費 無料

○問合せ先 山形県看護協会

☎0236858033

「介護福祉士等修学資金・保育士修学資金の貸付について」

○募集人数

介護福祉士修学資金 約30名

社会福祉士修学資金 若干名
保育士修学資金 約100名

○申込方法 養成施設を通しての申込みとなります。

○申込期限 5月19日（金）必着

○申込・問合せ先

社会福祉法人山形県社会福祉協議会 山形県福祉人材センター

☎0236337739

「危険物取扱者試験」

○日時 6月10日（土）

【甲種、乙種、丙種】

○場所 村山産業高校
米沢工業高校

○受験申請締切

電子申請

4月14日（金）～23日（日）

書面申請

4月17日（月）～26日（水）

○受験申請方法 インターネット（電子）、持参・郵送（書面）

○申請・問合せ先

（二財）消防試験研究センター 山形県支部

☎0236310761

※乙種は高校生も受験可。

平成29年工業統計調査を実施します

○平成29年工業統計調査は、従業者4人以上の全ての製造事業所を対象に、平成29年6月1日時点で実施します。

○工業統計調査は、我が国における工業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。

○調査の結果は中小企業施策や地域振興など、国及び地域行政施策のための基礎資料として活用されます。

○調査票にご記入いただいた内容は、統計作成の目的以外（税の資料など）に使用することは絶対にありません。

○調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願いいたします。



東京戸沢会 第30回総会開催のお知らせ

会員の皆様、お友達（会員でない方も歓迎です）をお誘い合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日 時 平成29年5月14日（日）12時～

会 場 「グランドヒル市ヶ谷」東館2階 芙蓉の間

東京都新宿区市谷本村町4-1 ☎（03）3268-0111（代表）

会 費 8,000円

問合せ先 東京戸沢会事務局 東京都八王子市散田町5-26-5（会長 佐藤正明方）☎042-665-4324

※詳細は、別途ご案内させていただきます。



労使間のトラブル解決をお手伝いします

解雇や賃金などの問題でお困りではありませんか？

山形県労働委員会では、一人ひとりの労働者と事業主との間の労働関係のトラブル解決に向けてお手伝いします。公益・労働者・使用者代表の三者委員が当事者双方の主張を詳しくお聴きし、話し合いでの解決を図ります。

無料・秘密厳守ですので、お気軽にご相談ください。

問合せ先 山形県労働委員会事務局

☎023-630-2793

危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちの皆様へ

危険物取扱者・消防設備士の義務として、消防法令では、免状交付の日から10年以内ごとに写真の書換えをしなければならない規定となっております。

未だ、写真の書換えをされていない方は、速やかに手続きをされるようお知らせいたします。

問合せ先 一般財団法人消防試験研究センター

山形県支部 ☎023-631-0761

借金返済に関する相談窓口の案内

返しきれない借金でお困りの方、まずはお電話を。相談は秘密厳守・無料です。

相談専用電話 023-641-5201

場 所 山形財務事務所1階理財課

受 付 月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）

8:30～16:30

地域共創コーディネーター養成プログラム開講

地域の様々な課題に取り組もうとする仲間とともに、実践的なスキルを身につけることができる学び合いの場です。

対 象 本プログラムの趣旨に賛同し、より良い地域づくりのためにスキルアップを図りたいと考えている方ならどなたでも受講いただけます。

期 間 平成29年4月15日～11月10日

会 場 東北公益文科大学鶴岡キャンパス

定 員 20名

受講料 一般：36,000円

東北公益文科大学大学院生・学部生：6,000円

申込・問合せ先

東北公益文科大学庄内オフィス

☎0234-41-1115

健康カレンダー（4月）

日程	内容	場所	時間
11日	母親教室・母子手帳交付	保健センター	13:30～
14日	健康相談・結果報告会	猪ノ鼻公民館	9:30～
		上台公民館	13:30～
21日	1歳6ヵ月児健診 平成27年8月～ 10月生	保健センター	13:00～
	3歳児健診 平成25年8月～ 10月生		
	フッ素塗布（無料） 平成25年11月～ 平成26年1月生		



暖かい日が続き、ようやく春の訪れを感じることが出来る季節になってきましたね。
3月は、旧戸沢小学校校舎で行う最後の卒業式の取材に行ってきました。
在校生や廃校となる校舎に別れを告げ、これから始まる小中一貫教育校への期待に目を輝かせる卒業生の姿が印象的でした。
新年度から始まる新たな学校生活でも、自分の進むべき道をしっかり見据え、頑張りたいと思います。

編集者の
コラム Vol.60



ふれスポ通信

第1回DOスポーツ カップ少年少女大会

3月5日(日)、戸沢村中央公民館にて、第1回DOスポーツカップ少年少女大会が開催され、最上地区から8チームが出場し、バレーボールで勝敗を競いました。

大会では、戸沢村から出場した、「戸沢JVC6年生チーム」が接戦をものにし優勝、「戸沢JVC新人チーム」も第3位と健闘しました。



その後は、最上地区のバレーボール協会加盟のスポーツ少年団6年生の卒団祝いとしてメダルの授与、角川太鼓がサプライズで演奏を披露するなど、バレーボールだけでなく、出場団体が大会全体を通して様々な交流を行いました。



Top Athlete Event「為末大」 に学ぶスポーツのご案内

今回は、スポーツ・陸上競技の楽しさを伝えるため、かけっこ教室を開催していただきます。世界を知る男の陸上哲学を学ぶ、またとないチャンスです。みなさんご来場ください。

【日時】平成29年5月6日(土)

10時～

【場所】新庄市陸上競技場

【内容】1部 トークセッション

かけっこ教室

【受付】1部 50m競争

2部 9時20分～

2部 13時～

【申込先】トップアスリート招致事業実行委員会

0233-222-111

(内線471)



【講師】為末 大さん

男子400mH日本記録保持者。(2017.3現在) 3度の五輪に出場。

村の人口と世帯 (2月末現在)

4,810人(－20人)〈男2,320人(－4人)、女2,490人(－16人)〉1,623世帯(－7世帯)※()内の数値は、1月末との比較



表紙のことば

表紙は、戸沢小学校卒業式の一コマです。卒業生は、卒業証書を受け取ると、「部活と勉強の両立をがんばる」、「部活で活躍する」など、中学校での抱負を力強く語っていました。

編集・発行

広報とざわNO.545

発行日 平成29年4月1日

編集・発行 戸沢村総務課
山形県最上郡戸沢村大字古口270

TEL 0233-72-2111

FAX 0233-72-2116

URL <http://www.vill.tozawa.yamagata.jp/>
(パソコン及び携帯共通)

E-mail: tozawa@vill.tozawa.yamagata.jp



URL



メルアド